

製品名: Homer1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02110**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.81mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 40 kDa; Observed MW: 46 kDa

抗原情報

遺伝子名	HOMER1
別名	HOMER; SYN47; Ves-1; HOMER1A; HOMER1B; HOMER1C
遺伝子 ID	9456
SwissProt ID	Q86YM7
免疫原	ヒト Homer1 の組み換えタンパク質

背景

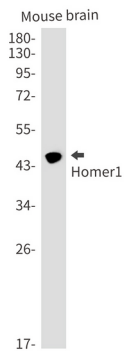
シナプス後肥厚部足場タンパク質。GRM1、GRM5、ITPR1、DNM3、RYR1、RYR2、SHANK1、および SHANK3 の細胞質領域に結

合し、架橋する。GRM1 および GRM5 を ER 関連 ITPR1 受容体と物理的に結合させることで、細胞表面受容体と細胞内カルシウム放出の共役を促進する。また、AGAP2 との相互作用を介して GRM1 を PI3 キナーゼと共役させる可能性もある。アイソフォーム 1 は GRM5 の輸送と細胞表面発現を制御する。アイソフォーム 3 は天然の優性負性タンパク質として機能し、恒常的に発現するアイソフォーム 1 と動的に競合することで、シナプスの代謝型グルタミン酸機能を制御する。アイソフォーム 3 は、長期にわたる神経可塑性と発達においてシナプスで起こる構造変化に関与している可能性がある。SHANK1 と高次複合体を形成し、これが樹状突起棘の構造および機能的完全性に必要となります。

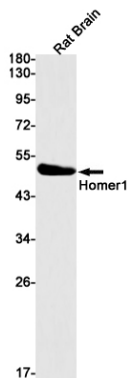
研究分野

神経科学

画像データ



Homer1 抗体を使用したマウス脳溶解物中の Homer1 のウェスタン プロット分析。



Homer1 抗体を使用したラット脳溶解物中の Homer1 のウェスタン プロット分析。